

臨床研修病院の指定継続について

1 概要

医療法及び医師法の一部を改正する法律（R2.4.1施行）により、臨床研修病院関係業務のうち、臨床研修病院の指定権限が、国から都道府県に移譲された。

また、都道府県が臨床研修病院の指定を受けようとする病院又は臨床研修病院が指定基準に適合しているかどうかを確認するに当たっては、実地調査ができることとされ（資料 4－2 の 5 枚目を参照）、指定基準の判断を行う場合は、地域医療対策協議会の意見を聴いた上で行うこととされている（資料 4－3 を参照）。

本県では、権限移譲前に東北厚生局が実地調査を行っていた周期（5 年）を目途に、県内臨床研修病院を一巡する定期巡回調査のほか、臨床研修病院の指定継続に係る実地調査を行うこととしており、令和 4 年度から県による実地調査を開始している。

2 令和 5 年度 臨床研修病院実地調査 実施病院

実施日程	令和 5 年 9 月 1 3 日
病院名	黒石病院
実地調査対象とした理由	医師法第 1 6 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（平成 1 5 年 6 月 1 2 日付け医政発第 0612004 号厚生労働省医政局長通知）第 2 の 5 （1）エの基準（※）に、2 年にわたって適合していないことが確認されたため。

（※）臨床研修を行うために必要な症例があること。

「臨床研修を行うために必要な症例があること」とは、「臨床研修の到達目標、方略及び評価」の「Ⅰ 到達目標」を達成するために必要な症例が確保されていることをいうものであること。入院患者の数については、年間3,000人以上であること（資料 4－2 の 4 枚目を参照）。

3 実地調査の結果

令和5年9月13日に黒石病院に対して実施した実地調査については、「臨床研修病院の実地調査実施要綱（抜粋）」（資料4－3）に基づき、下記のとおり結果を整理した。

全体評価	B（※評価基準は資料4－3を参照）
全体の まとめ	<p>基幹型臨床研修病院としてその基準内にあると考える。</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年度、令和4年度の過去2年間にわたり、年間入院患者数が3,000人を下回ったが、その主な理由は、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、一時的に入院を止めたことによると考えられる。今年度（令和5年度）は、これまでのところ、<u>通年の入院患者数を上回っており、年間を通して最終的に3,000人以上となることが十分予想される。</u>年間入院患者数の規定は、研修医が十分な研修症例を確保ために重要な要件であるが、現在、黒石病院に在籍する研修医（2年次：2名、1年次1名）の調査結果では、2年次、1年次とも<u>黒石病院で研修要件を満たす経験症例数を経験しており、その項目にも片寄り</u>はなかった。研修管理委員会のあり方、運営について課題ありと認められるが、病院全体として（一丸となって）、よりよい研修ができるよう努力しているのが伺える。
研修医に 対する まとめ	<ul style="list-style-type: none">臨床研修病院の指導管理体制に関して、指導医、研修医と面接調査した結果から<u>指導医等からの適切な助言・指導が行われ、研修医がその到達目標に向かって順調に成長していることが感じ取れた。</u>自ら意欲的に研修に臨んでおり、納得のいく、充実した研修がなされているようである。

4 指定継続の判断について

上記3の調査結果を踏まえ、黒石病院は、適切な指導体制が確保され、研修医が基本的診療能力を習得できると認められるものと判断し、**指定を継続**することとしたい。

5 指定継続後の対応について

定期的な巡回調査を行い、引き続き臨床研修病院の指定基準を満たしているか確認を行うこととする。

なお、改善を要する事項として個別に指示した事項については、別途改善報告書を受領後、東北厚生局に指示及び報告内容を通知する。